ワークショップパートナー　登録申請用　プログラム実施案（記入例）

様式2

プログラムタイトル「手の中で動きだす？ぱらぱらマンガを作ってみよう」

ワークショップパートナー名：あしたのんき（アニメーション画家）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 2021年　8月　22日（土）　※仮の日程を入れてください |
| 開催時間 | 13:00〜15:45　※仮の時間を入れてください |
| 対象 | 小学3年生以上 |
| 定員 | 20名 |
| 参加費 | 300円 |
| 当日の運営スタッフ （全員分の氏名を記入） | 田口、山田、田中、高橋 |

|  |  |
| --- | --- |
| ワークショップのねらい  (ワークショップを通して実現したいこと) | ・前川千帆展を鑑賞するきっかけをつくる  ・ぱらぱらマンガとアニメーションの関係性を知ることで、作家（千帆）や展示作品への興味関心を深める  ・鑑賞体験と作品制作を通して、参加者の創造性を刺激する  ・自分の表現を他者と共有するよろこびを知る  ・アーティストと直接触れ合う時間を提供する |
| 具体的なゴール (今回のプログラムの中で参加者に体験してもらいたいこと) | ・アニメーションのコマ送りを見て、パラパラ漫画とのつながりを理解する  ・制作のヒントを展覧会作品から見つける  ・前後のページのつながりや、物語の起承転結も意識して作品を制作する  ・ぱらぱらマンガの製本方法を知る  ・作家からアドバイスを受けて制作する  ・自分の作品を、講師や他の参加者に共有し、フィードバック（感想）をもらう  ・他の参加者の表現に触れ、イメージやアイデアの幅を広げる |

|  |  |
| --- | --- |
| 使用する道具等 | 共有：大型ホッチキス、ボンド、水性カラーペン、消しゴムハンコ、インクパッド、書画カメラ（実物投影機）、iPhone（参加者作品の動画撮影用）、マイク、マイクスタンド、PC、H D M Iケーブル、CDデッキ、カメラ（会場の記録撮影用）  人数分：ハサミ、鉛筆、消しゴム、色鉛筆、名札ケース、名札用紙、領収書、アンケート用紙 |
| 必要な材料等（消耗品） | 数人で共有：マスキングテープ  人数分：ぱらぱらマンガの台紙、表紙用の色画用紙、下書き用の紙3枚、ウェットティッシュ、 |

◎当日の流れ（タイムテーブル）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 実施内容 | 用意するもの | 備考（運営上の注意点など） |
| 10:00〜11:30 | 搬入・会場準備 | CDデッキ | 会場前からBGMを流し始める |
| 12:45〜 | 受付開始 | 領収書、ボールペン | 消毒と検温の徹底、密にならないように受付 |
| 13:00〜13:15 | 挨拶、事務連絡、講師紹介、前川千帆展の紹介 | マイク、PC、プロジェクター | 展覧会紹介の中で、アニメーション作品「なまくら刀」を見せる際、コマ送りにする |
| 13:15〜13:20 | 8F展示室へ移動 | 「ワークショップ参加中」の名札 | 4人グループに別れて行動 |
| 13:20〜40 | 前川千帆展鑑賞 |  | 展示室内では、会話は控えめにする。グループごとに距離をとって鑑賞。 |
| 13:40〜13:45 | WSルームへ戻る |  |  |
| 13:45〜13:50 | ぱらぱらマンガの作り方を説明 | ぱらぱらマンガの台紙、書画カメラ、プロジェクター | 台紙の右半分に描くことをしっかり強調する |
| 13:50〜14:00 | アイデア出し |  | 消しゴムハンコを使うこともできると適宜伝える |
| 14:00〜15:00 | 制作 |  |  |
| 15:00〜15:15 | カット、製本 | 大型ホッチキス、ボンド、表紙用の画用紙 | 完成順に製本する。製本が終わった人から、記録用に作品の動画を撮影しておく |
| 15:15〜15:40 | お披露目会  参加者作品を一つずつ講師がぱらぱらと実演して、プロジェクターで投影し、全員で鑑賞する  講師から一人一人に講評を伝える | ワイヤレスマイク、ウェットティッシュ | スタッフが参加者にマイクを向けて、本人からも一言コメントをもらう |
| 15:40〜15:45 | まとめの挨拶 |  | 作品の動画は後日美術館HPで公開することを必ず伝える |
| 15:45〜 | 終了予定、アンケート記入 |  |  |

※参加者のテーブルには、あらかじめ以下のものを置いておく

・鉛筆、消しゴム、色鉛筆、ハサミ、ウェットティッシュ、下書き用の紙、名札、前川千帆展のチラシ